

海の向こうから

令和2年、今年は、新型コロナウイルスの為、今まで経験した事のない年になりました。派遣されていた隊員は、緊急帰国しております。広島県OB会も2月16日の留守家族会、OB会総会を最後にオンライン以外のイベントを自粛しています。まずは、隊員の報告からです。

01

バックパッカーの沈没地より

ナマステ、2018年度4次隊の橋本良です。私は2019年の4月から、ネパールのポカラ市に行政サービスという職種で派遣されていました。3月末、現地の文化や生活にも慣れ、「よし、ラスト1年頑張ろう！」と意気込んだ矢先に、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大の影響で、任期と自身の荷物を半分残し緊急帰国しました。

私の任地であるポカラ市は、人口約50万人のネパールの第二の都市です。標高約7000メートルのヒマラヤ山脈を望むことができ、年中比較的温暖な気候もあって、ネパール随一の観光地として有名です。そんなポカラには、旅人もあまりの心地よさについつい居座って住み着いてしまう「バックパッカーの沈没地」との異名もあります。

私は配属先のポカラ市役所で、市の実施する女性の所得向上プログラムのサポートをしていました。ジェンダーによる差別や家庭内暴力など、多くのネパールの女性が厳しい社会環境に置かれています。本プログラムは、女性の所得向上を通じて女性のエンパワーメントを図るものです。その中で、私は女性グループの作る商品の販売促進やグループの運営補助を、行政と連携し行っていました。

活動当初は、私が外国人でかつ異性であるため、活動先の女性たちとも隔たりが存在しましたが、女性たちと同じ目線に立つために、私自身も一緒に洋裁の訓練を受け、地域行事などに参加することで徐々に関係を築くことができました。



現在、私はネパールへ再赴任できるまで、廿日市市の職員として、市の中山間地域である吉和で地域振興の業務に従事しています。地域の皆さんの暖かさや自然の豊かさはどこかネパールを彷彿させるものがあり、つついノスタルジックになってしまいます。

また、秋からは日本とネパール両国での地域開発の経験を学術的に深めたいと考え、広島の大学院に入学しました。ネパールにいつ再赴任できるか見通しの立たない状況ですが、国内で自身ができることに励み、今後も国際協力活動に携わっていきたいと考えています。



02

JICA 広島県 国際協力推進員の交代 新旧の紹介

11-1 コスタ・リカ 日本語教師 橋本優香

見せます！OVの底力！！

「広島県 JICA デスク、橋本です。」

今でも、電話を取るとこう言ってしまうそうです。なんせ、5年半も国際協力推進員をってしまったもので…。



JICA デスクは、各県の JICA の窓口。そこで働くのが国際協力推進員です。「地域と JICA をつなぎ、国際協力を推進する」それが仕事。青年海外協力隊 OV の途上国での貴重な体験を、地域社会に還元するサポートをするのも業務の一部でした。OV の皆さんにはたくさん出前講座に行っていましたし、国際交流イベントで派遣国の紹介もしていただきました。

色々なことをお願いする中で気づいたのは、OV たちの発想力と柔軟性でした。特にイベントではそれが如実に現れます。皆さん普段はお仕事でお忙しいので、イベントは毎回ぶっつけ本番です。でも、開始前に「だいたいこんな感じでやりたい」と大まかなイメージを伝えると、期待以上のパフォーマンスを見せてくれます。目指すべきビジョンを伝えておけば、事細かに指示を出さなくても、一人一人が考えて動き、足りないものがあればその場にある物で代用してくれます。そして、なんととってもコミュニケーション力の高さ！ 来場者への心遣いはピカイチです。子供が来ても、シニアが来ても、障がい者が来ても、外国人が来ても、躊躇したりフリーズしたりということが一切ありません。「言葉も文化も違う上に、物資も不十分な途上国で、悩みながら活動した 2 年間の経験はこの人たちの中に今も生きてるなあ…」と、いつもひそかに感動していました。



さて、私の今後ですが、なんと JICA デスクの隣の席で、広島市の多文化共生に携わることになりました。外国人を相手にした日本語教師の経験と、日本人を相手にした国際協力推進員の経験、両方が活かせる仕事の機会をいただけたことに本当に感謝しています。今は“お役所”の方々と毎日“異文化”交流会です。私だって OV の一人！底力を発揮できるはず！！そう信じて頑張る日々です。個人としても一つプロジェクトを妄想中ですが、その話はまた別の機会に。良かったら皆さん巻き込まれてください（笑）

広島県 JICA デスク 国際協力推進員 羽立大介（はだてだいすけ）

2018 年度 1 次隊 障害児者支援 ガーナ派遣

アンテレー！（こんにちは！）2018 年度 1 次隊、障害児・者支援隊員としてガーナに派遣されていた羽立大介（はだてだいすけ）です。2 年間の任期を終え、東京オリパラの選手村でボランティアをして世界中のアスリートと間近に接し、オリパラが終わった後はフラックと色々な所に旅行に出かけようかと思っていました。・・・が、コロナのご縁でなぜだか今は広島県 JICA デスクの国際協力推進員として日々奮闘しています。

広島での日々が当たり前になり、ガーナで過ごした記憶は確実に薄れています。通勤時の広電の混み具合に疲れることもありますが、ガーナの乗り合いバスに比べると全然大したことないなとも感じます。

ガーナでは盲学校に配属され、PC の操作（主にタイピング）や体育の指導をし、放課後にブラインドサッカークラブで生徒に「時間を守りなさい」「一生懸命やりなさい」と小言ばかり言って過ごしていました。ガーナにいた頃にはイライラしていた彼らの行動（時間へのルーズさ、すぐに喧嘩する等）も今となっては懐かしいです。

乾季のガーナ北部は気温 40 度を超えるのが当たり前の日々でした。そんな厳しい暑さの中、ブラインドサッカーのボールでドリブルをしながら「nice one!」と嬉しそうな声をあげていた生徒の声を今でも思い出します。

ガーナでは国籍や身分に関係なく多くの人に出会えました。本当に一生の財産です。その一方で、完全燃焼できず帰国することになったため、いつかまたガーナに戻ってみんなと思い出やこれからのことについて語り合いたいです。



7月に推進員に着任し、あっという間に2か月が経過しました。協力隊での経験が活きる場面もありつつ、多くの業務は初めてで不慣れな物です。イベントも軒並み中止・縮小、協力隊事業もストップしており、例年に比べると業務量は相当少ないと言われてはいますが、日々何かに追われています。周りの人に助けをもらいながら、これまで培った経験、視点を活かした「はだてらしい」「はだてだからこそ」の活動ができればいいなと感じています。これからたくさんイベント等企画していきますので、県内のOVの皆さん、ぜひともご協力をお願いします。

現在、全世界に派遣された隊員が一時避難を余儀なくされ、訓練を終えた隊員、訓練を待つ隊員も含めて、今後の目途が立たない状況が続きます。

そのような中で、推進員ができることは限られてきますがJICA事業や体験談を伝えることで、協力隊への熱を絶やさない

ようにしたいです。そして、国同士の移動の制限がなくなったら、すぐにでも多くの隊員が活動を始められるよう様々な面でサポートできたらと思います。

訓練所～任国派遣前の想いを形にするためにアンケートを取りました。隊員のみなさん、派遣された時の思いを
忘れない様に！

アンケート内容

①名前 ②隊次/派遣国 ③職種 ④応募したきっかけ ⑤訓練所での辛かった思い出 ⑥訓練所での楽しかった思い出 ⑦2年間の活動中に挑戦したいことは？ ⑧出国を前に控えた今の心境は？ ⑨これから2年間の活動に向けての意気込みを一言



①小坂 ひとみ ②2019-2/ブラジル ③日本語教育 ④海外協力隊だけでなく、海外で働ける方法を探していたが、ブラジルで働きたいと考えたとき ちょうど好きな都市の募集があったので。⑤食事の内容や時間が決まっており最初から最後まで便秘に苦しんだこと。7Kg 太ったこと。⑥ポルトガル語が、分かるようになったこと。⑦ブラジルならではの習い事を始めたい。⑧引越準備が大変で、やる事がたくさんあるのにポルトガルに旅行しようとしている。無事ブラジルへたどり着けるのか…。⑨健康で、ポルトガル語をしっかりとマスターした自分になって帰って来よう。次の仕事探しのアピールのためにも…



①谷中 一路 ②2019-2/ドミニカ共和国 ③コミュニティ開発 ④小学生の時2年間タイに住んでいた際に、当時9才の私は、同じ歳くらいの子供が破れた服を着て、赤子を背負って、路上で生活、お金を通行人に求めるなど、貧国の現場を見て今日まで印象が強く残っています。⑤語学以外(新しく学んだ)の課題も多く、タイトスケジュールだった為、自身の時間の確保、タイムマネジメントが大変だった。⑥様々なバックグラウンドの方と共に集団生活したため、知見が広がった。⑦任国でできる文化に積極的に挑戦したい(踊り・歌・格闘技など) ⑧意外と落ち着いた心情です。⑨行く雲、流れる水の如し



①山根 京志郎 ②2019-2/ジンバブエ ③サッカー ④SNS ⑤語学学習 ⑥班別行動、フィールドワーク ⑦語学力向上、サッカー技術をしっかり伝える。⑧特になし ⑨無茶せず無理する



①乗越 将秀 ②2019-2/ウガンダ ③野菜栽培 ④子どものころからの ⑤とくになし ⑥生活すべて ⑦農家の生活をかえる ⑧わくわく ⑨がんばります。



①芥川 真菜 ②2019-2/ブラジル ③日本語教育 ④自分の教え子である留学生を見て自分自身も何かに挑戦したいと思ったから ⑤入所して1週間位、毎朝知らない人と話をすること ⑥運動しよう！と声をかけると多くの人が集まってくれて、バレーやバスケットボール・テニスなど様々なスポーツができたこと。⑦色々な日系社会を訪れたい。⑧出国が1月ということもあり まだ実感がありません。⑨日系社会を盛り上げられるようがんばります。



①延原 真理奈 ②2019-2/ガボン ③助産師 ④中学生の時から参加したかったため。⑤語学が難しく、辛かった。(フランス語) ⑥色んな年齢、職種、経験をされた方と沢山交流できた事。⑦フランス語でベビーマッサージ教室を実施する。⑧準備でバタバタなのと、語学勉強ができていなくて不安です。⑨自分の経験が少しでもガボンの方の為になれる様頑張ります。



①瀬下 岳 ②2019-2/ザンビア ③小学校教員 ④平成28年1次隊ドミニカ共和国に行ったのが、きっかけです。⑤所属する大学院のザンビアの算数の研究を訓練と並行して進めなければならなかったことが、辛かったです。⑥岳温泉めぐり。地酒・日本酒を楽しみました。⑦世界にヒロシマ・ナガサキを伝える JICA ボランティアによる原爆展 ⑧ザンビアの子ども達・先生方に会うのが楽しみです。⑨現地の人々に笑顔と希望を！



①藤中 寿子 ②2019-2/ウガンダ ③薬剤師 ④子供の頃からの夢 ⑤ワークショップの準備 ⑥たくさんの人と出会えて嬉しかったです 色々な話が聞けて刺激的でした ⑦現地の友達をたくさんつくる。子供たちと仲良くなる ⑧楽しみ80% 不安20% ⑨やるしかない！



①小川 翔生 ②2019-2/ザンビア ③理科教育
④自分の得意な分野をいかして海外で働くことができると思ったから。⑤大学院の研究 ⑥多くの人と触れ合えたこと ⑦多くの理科実験を取り入れる。⑧現地に受け入れてもらえるのか心配 でも新しい場所で活動するのはたのしみ。⑨自分のできることをやる!!



①畠山 淑子 ②2019-2/チュニジア ③青少年活動 ④中学生の時に母に紹介してもらいました ⑤カメムシがたくさんいました。⑥たくさん友人ができました。⑦子どもたちをたくさん笑顔にします ⑧不安と楽しみと半々です ⑨がんばります!!

OB 会イベント実施状況・予定



会報誌発送作業 (2019.12.14)

会報誌の発送作業を行いました。
2019年度は800部印刷。みなさん届いていますか？



家族連絡会・協力隊ナビ (2020.02.16)

留守家族の方々を招き、ボランティア事業や支援体制などを説明。4人のパネルトーク。参加者は合計50名。



バインセオ

まつながカープチャー (2020.02.03)

福山市松永町にて。県東部数少ないイベントです。
グリーンカレー・バインセオを販売し、バインセオが、ものすごく売れました。追加の材料買い付けにみんなで行き回りました。アジア地域出身の方々に多く買っていただきました。



OB 会絡会 (2020.02.16)

毎年家族連絡会の後で行っております。
多くの OB・OG 隊員の参加を期待いたします。



第一回スキルアップセミナー (地域における社会貢献セミナー) (2020.07.18、07.25、08.01)

全3回のべ180人以上の参加がありました。

今年は、2月16日の家族連絡会・総会以降、オンラインイベントを除いて全てのイベントが新型コロナウイルスの為、中止になりました。

広島県 OB 会が主催することになっていた中国ブロック交流会も出来ませんでした。準備に何回も集まり、県内色々なイベント会場を視察し準備を行いました。残念な結果となりました。来年度は、岡山県(!?)の予定です。(この状況なので未定です)

影響を受けたのは、OB 会だけではありません。派遣されていた隊員は、現在、全員帰国しております。又訓練が終わって派遣される予定だった隊員も 国内で待機しております。これから 協力隊は、どのようになるのでしょうか・・・。

今後の予定

今後の予定は、現在全く解りません。全て、驚異的に拡散している新型コロナウイルス次第です。予定が決まり次第、広島県 OB 会の一斉メール等にて連絡いたします。みなさまくれぐれもウイルスの感染予防に心がけ、また元気にお会いしましょう。



編集後記

05

会報誌担当 4年目の 61年度 2次隊 吉池俊二です。編集作業をやってくれていた山本さんの後を引き継ぎ、今年の会報より私が行いました。解らない事だらけで参考書を見ながら60才過ぎて頑張っております。ただ、協力隊 OB 会も新型コロナウイルスの影響で集まる事も無く、私は県東部でひっそりしておりました…。と言いたいところですが、私ごとながら昨年娘が結婚し、今年1月末に結婚式、その後出産の為実家に帰ってきて、三月に初孫が生まれました。ところが娘は新型コロナウイルスの影響で戻れなくなり、9月末まで約6か月、家族で孫のお世話をしておりました。今回の会報にご協力くださった皆様ありがとうございました。私としては、もっと昭和の隊次の方々に参加していただきたいと思っております。皆さんの力をぜひ広島県 OB 会へ。ご協力よろしくお願いたします。多くの方の参加をお待ちしております。

06

家族連絡会・総会のお知らせ

例年 2 月に実施している家族連絡会は現時点で派遣中の隊員や派遣予定も未定の事から中止の予定です。OB 会総会については、2月13日(土)に実施予定です。緊急事態宣言等出た場合は、オンラインや中止となる場合もあります。その場合は、一斉メール・facebook 等で告知しますので参加いただけたらと思います。

総会スケジュール：2月13日(土) 広島留学生会館 2階

14:00～ 会場準備、14:30～総会、16:30～片付け、17:00 解散予定(懇親会?)

総会については、会費(2,000円/年)を払った人のみ議決権を持てるという事になっています。会費を払ってなくても参加は出来ませんが、是非会費を払って参加して頂ければと思います。

07

JICA・JOCA・協力隊の動向

世界規模で新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下、2020年3月以降、海外で活動中の協力隊員は順次一時帰国となり、訓練を修了後派遣が見合されていた2019年度3次隊も含めて日本で待機となっていました。6月には JICA から「待機の継続、特別登録、辞退」の3つの選択について意向確認が行われ、10月上旬に継続待機の方を対象に JICA から説明会が行われました。また、2020年度1次隊については、3百数十名の入所予定者のうち、約100名の現職参加者は元の所属先に戻る事となりました。それ以外の2百数十名に対して特別訓練への参加確認を行い実施されています。再派遣については、ベトナムは渡航再開に向けて準備開始。タイ、カンボジアとは渡航再開に向けた最終調整中。専門家等の渡航再開が決定した国は20か国程度あり、アジアのみならず、中南米、大洋州、アフリカ、中近東の国が含まれ、渡航再開の調整が進められています。今後の OB 会入会希望者は派遣期間が数か月、もしくは派遣前訓練のみという方も!?

JOCA については、安芸太田の月ヶ瀬温泉が8月1日にグランドオープンしました。温泉に入れて、美味しい蕎麦を食べられます。是非近くにお寄りの際は訪れてみてください。(月ヶ瀬温泉：広島県山県郡安芸太田町加計 3505-2)

08

広島県 JICA デスクからお知らせ

国際協力に関心を持つ皆様、あるいは、誰かのために何かしたいと考える皆様が、それぞれの立場でそれぞれの関わり方が出来るよう、情報を発信し、一緒に考えていきたいと思っています。最新情報は右の QR コードから (JICA 広島デスク FACEBOOK ページ)。

広島県 JICA デスク 推進員 羽立 082-242-8879



09

青年海外協力隊 広島県 OB 会 連絡先

会長：竹内英祐 (20-4 ウガンダ 土木) / 事務局長：上野寛治 (21-2 ドミニカ国 音楽) / 会報誌担当：吉池俊二 (61-2 リベリア 自動車整備)
メールアドレス：info@jocv-hiroshima.sakura.ne.jp (イベントやお問い合わせはこちらへ)
/ 広島県出身者の待機中・派遣前隊員の隊員数：15名